



NEDO研究開発成果の実用化・

事業化支援事業等 の紹介

(中小企業・スタートアップ向け事業)

※本資料は公募説明資料ではありません。
公募への応募をご検討頂く際は必ず対象の最新の公募情報をご確認ください

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
スタートアップ支援部

0

NEDO
当機構のご紹介 | スタートアップの創出・育成支援の背景



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

New Energy and Industrial Technology Development Organization

概要

所 管	経済産業省
職 員 数	1,565名(2025年4月1日現在)
予 算	約1,464億円(2025年度当初予算) その他、基金事業を実施(約10.4兆円)

Mission

- ✓ エネルギー・地球環境問題の解決
- ✓ 産業技術力の強化

第5期中長期計画に基づく3つの取り組み

スタートアップ育成5か年計画達成に向け、技術シーズや事業構想を有する起業家候補の発掘・育成支援
ディープテック・スタートアップの実用化開発、海外技術実証、量産化実証の支援等を行っております。

01

研究開発マネジメントを通じた
イノベーション創出

02

研究開発型スタートアップの
育成

03

技術インテリジェンスの
強化・蓄積

シーズ発掘から事業化まで、フェーズ・領域に応じて網羅的・シームレスな事業支援を行っています。

技術開発に対する補助金支援

事業会社連携、人材育成等

スタートアップ支援

起業前の個人 スタートアップ 中小企業 大学・研究機関

長期の研究開発と大規模な資金を要するディープテック・スタートアップの研究開発へ支援を行い、イノベーションを促進します。



技術シーズ発掘・育成(産学連携)支援

民間企業 大学・研究機関

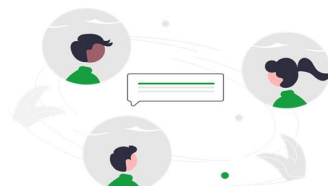
新産業創出に貢献する革新的な技術シーズの発掘・育成を行う産学連携体制を支援します。



エコシステム形成

スタートアップ 事業会社 VC支援者等

研究開発の成果を最大限に活用するため、支援人材の育成や事業会社との連携支援を行っています。



支援対象分野

経済産業省所管の鉱工業技術(例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、医療機器、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等)に係る研究開発を行うもの。

ただし、原子力技術に係るものは除く。また、一部事業では、医薬品として医薬品医療機器総合機構(PMDA)の審査・承認を受けることを前提としたものや、再生医療等製品に係る開発は除く。

2

技術開発に対する補助金支援 : スタートアップ支援事業

スタートアップ支援事業の対象分野

支援対象の分野

経済産業省所管の鉱工業技術

例えば、**・ロボティクス** **・AI** **・クリーンテクノロジー** **・素材**
・医療機器 **・ライフサイエンス** **・バイオテクノロジー**
・航空宇宙 等

※原子力技術に係わるものは除く

■ 具体的な技術シーズであって、技術開発要素があること。

なお、スマートフォンのアプリ開発のためのソフトウェアのコーディングなど、技術開発要素が少ないものや、既存製品(購入品)を利用しただけのものについては対象外とする。

■ 競争力強化のためのイノベーションを創出するものであること。なお、実証段階にあっても、技術開発要素があるとみとめられるものについては、提案可能です。

また、医薬品及び再生医療等製品に係る開発は原則として対象外。

ただし、**医薬品開発を加速する支援技術の開発**や**医療機器、医療検査技術等**、経済産業省所管の鉱工業技術に係る複合技術開発は**助成対象**とします。

● GX事業では、上記に加え以下の要件を満たすこと。

脱炭素成長型経済構造移行推進戦略を踏まえて、CO₂の排出削減に向けた野心的な目標を掲げるなど世界規模でのカーボンニュートラルの実現及び日本の産業競争力の強化のためのイノベーションを創出するもの。

3

コース名

技術開発に対する補助金支援	スタートアップ支援	ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業 / NEP(NEDO Entrepreneurs Program)開拓コース
		ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業 / NEP(NEDO Entrepreneurs Program)躍進コース ★
		ディープテック・スタートアップ支援事業 / DTSU(Deep-Tech Startups Support Program)
		GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業 / GX
		ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 / UPP事業(Unicorn Promotion Program)
		GX分野のディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 / GX UPP事業
		ディープテック・スタートアップ支援基金 / 国際共同研究開発
		SBIR(Small / Startup Business Innovation Research)推進プログラム ★
		脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
		新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業 ★
事業会社連携、人材育成等	エコシステム形成	大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業 / PoP(Proof of Product)フェーズ
		官民による若手研究者発掘支援事業
		NEDO先導研究プログラム
		NEDO懸賞金活用型プログラム / NEDO Challenge
		研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座 / NEDO SSA(NEDO Startup Supporters Academy)
		大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業 / MPM(Management Personnel Matching program)
		大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業【実証事業】
		事業会社等が保有する革新的な技術を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップ創出等促進事業【実証事業】
		海外研究者招へい事業 / STeP JAPAN (Science and Technology Fellowship Program for JAPAN)
	技術シーズ発掘・育成支援	オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 / JOIC(Japan Open Innovation Council)
		NEDOデスク
	エコシステム形成	K-NIC(Kawasaki-NEDO Innovation Center)
		Plus(Platform for unified support for startups)

2016年以降 長野県下 NEDO事業採択者

都道府県	事業者名	事業名称	助成事業名	公募年度 西暦	実施開始 年度	実施終了 年度	審査結果
長野県	国立大学法人信州大学	新エネ	サブミクロン炭素繊維を用いたリチウムイオン電池向け高容量負極材の開発	2016	2015	2017	SG 通過
長野県	国立大学法人信州大学	新エネ	金属酸化物を用いた高効率、高耐久の太陽熱吸収体の開発	2016	2016	2017	SG 通過
長野県	長野鍛工株式会社	サポイン	難加工材料の組織微細化と超塑性鍛造による最先端ターボ部品の新量産工法開発	2016	2016	2016	採択
長野県	長野鍛工株式会社	サポイン	難加工材料の組織微細化と超塑性鍛造による最先端ターボ部品の新量産工法開発	2016	2017	2017	採択
長野県	国立大学法人信州大学	新エネ	FCC（流動接触分解）を利用したバイオ燃料製造システムの開発	2017	2017	2019	SG 通過
長野県	長野鍛工株式会社	サポイン	難加工材料の組織微細化と超塑性鍛造による最先端ターボ部品の新量産工法開発	2016	2018	2018	採択
長野県	多摩川精機株式会社	宇宙	宇宙用部品（クローズドループ式光ファイバジャイロによる慣性基準装置）開発	2018	2018	2018	採択
長野県	シナノケンシ株式会社	宇宙	小型衛星市場の拡大に向けた低コスト・短納期の国産リアクシオンホイール開発	2020	2020	2021	採択
長野県	精密林業計測株式会社	SBIR連結	ドローンとAIを用いた流域単位での効率的な森林境界明確化と施業提案の概念設計	2024	2024	2024	採択
長野県	ヴェルヌクリスタル株式会社	新エネ	リチウムイオン電池のドライプロセス製造のための正極活物質・バインダーの複合化工程開発	2024	2024	2025	採択
長野県	株式会社赤羽電具製作所	新エネ	リチウムイオンバッテリーのアルミ配線化に対応した次世代型電流センサの開発	2024	2025	2026	SG 通過
長野県	株式会社A・SEEDS	DTSU/PCA	革新的CAR-T細胞製品の臨床実装を目指した量産技術の開発	2024	2025	2026	採択
長野県	ヴェルヌクリスタル株式会社	新エネ	リチウムイオン電池のドライプロセス製造のための正極活物質・バインダーの複合化工程開発	2025	2025	2027	SG 通過

◆スタートアップ支援

- ・新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた研究開発事業（新エネ中小スタートアップ支援プログラム）
公募予告中 2026年3月上旬～2026年4月中旬の予定
- ・SBIR推進プログラム（連結型・一気通貫型）
- ・ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業 NEP（躍進コース）
公募予告中2026年3月中旬から2026年4月中旬の予定

▲参考資料

技術開発に対する補助金支援：スタートアップ支援事業
成長ステージに合わせた支援事業ラインアップ

対象内容	Pre-Seed		Seed	Early		Middle	
	技術シーズ発掘	初期構想の発想・検討	試作品の開発	商用化の実現	市場開拓		
	製品・サービスの開発段階	・基礎研究	・技術シーズの活用方法の検討	・試作品の開発 ・実証研究	・試作品の改善 ・量産化開発	-	
ビジネス検討段階	・技術シーズ発掘 ・起業マインドの育成	・アイデア発案と 初期的な検証 ・法人設立準備	・ビジネス構想検証	・現場での実証活動 ・初期見込み顧客の獲得	・市場拡大に向けた マジョリティ層の開拓		
事業	NEP	開拓	躍進				ディープテック分野の技術シーズを活用した ビジネスモデルを持つ起業家候補人材の支援。
	DTSU / GX			STS	PCA	DMP	長期・大規模な開発を要するディープテック・ スタートアップの 実用化開発 と 量産化 を支援。
	UPP / GX UPP						一定の研究開発を終えたスタートアップに 対して、商用の設備投資やソフトウェア投資等 事業開発活動を支援。
	国際共同研究開発						海外市場への展開と技術の早期普及を目的に、 海外事業者との国際共同研究開発を目指す ディープテック・スタートアップを支援。
	SBIR			フェーズ1	フェーズ2		政府が定めた研究開発課題に取り組む 研究開発型スタートアップ等による 研究開発と社会実装の推進を支援。
	脱炭素省エネ	FS	インキュベーション	実用化開発 フェーズ1	実証開発 フェーズ2		重要技術の開発支援を通じ、 省エネルギー型社会の構築と産業競争力強化を 目指すプログラム。(設立年数制限なし)
	新エネルギー等の シーズ発掘・事業化		フェーズA フェーズα	フェーズB フェーズβ	フェーズC 未来型		再生可能エネルギー普及に向け、事業化段階に 応じた制度・フェーズで中小・スタートアップ 企業等を支援。(設立年数制限なし)
PoPフェーズ						ディープテック・スタートアップと、 その製品等の調達・購買を希望する大企業等を 対象に、製品カスタマイズ・導入検証を支援。	

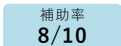
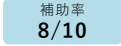
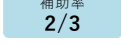
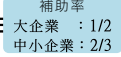
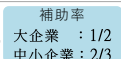
新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

中小・スタートアップ企業等による再生可能エネルギー普及に資する事業化支援を行います。

詳細ページ



技術シーズの開発研究		初期構想の発想・検討		試作品の開発		商用化の実現		市場開拓	
制度	フェーズ			補助金額		事業期間	応募要件		
新エネ中小・スタートアップ支援制度		フェーズA(FS)	 社会課題解決枠	 新市場開拓枠	1,000万円以内/年	 補助率 8/10	1年以内	中小企業	
		フェーズα(FS)	 社会課題解決枠	 新市場開拓枠	1,000万円以内/年	 補助率 2/3	1年以内	中小企業	
		フェーズB(基盤研究)	 社会課題解決枠	 新市場開拓枠	5,000万円以内/年	 補助率 8/10	2年以内	中小企業	
		フェーズβ(基盤研究)	 社会課題解決枠	 新市場開拓枠	7,000万円以内/年	 補助率 2/3	2年以内	中小企業	
		フェーズC(実用化研究開発)	1.5億円以内/年			 補助率 2/3	2年以内	中小企業	
未来型新エネ実証制度	 未来型新エネ実証制度 (事業化実証研究開発)			事前準備:2,000万円以内/年		 補助率 大企業：1/2 中小企業：2/3	事前準備:1年以内	中小企業	
				実証：3億円以内/年		 補助率 大企業：1/2 中小企業：2/3	実証:3年以内	大企業	

社会課題解決枠

… 実施体制に学術機関等が入っていること + 「公募の対象となる研究開発課題一覧表」に掲げる課題の解決に資する技術シーズを有していることが条件

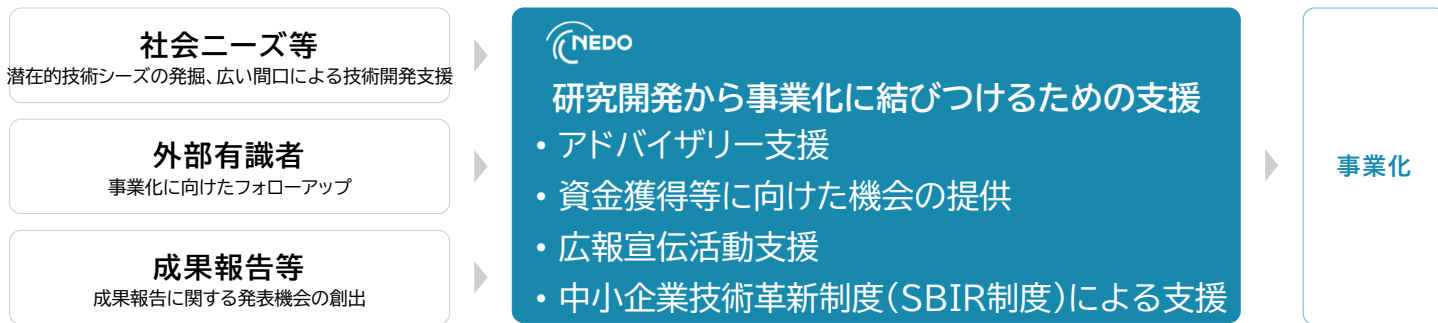
新市場開拓枠

… 提案に関してVCからの出資を得ていること(or 得る予定であること)が条件

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

新エネ中小・スタートアップ支援制度

✓ 今後の再生可能エネルギー導入普及に向けて、研究開発段階から事業化段階までの一貫した支援を行う。

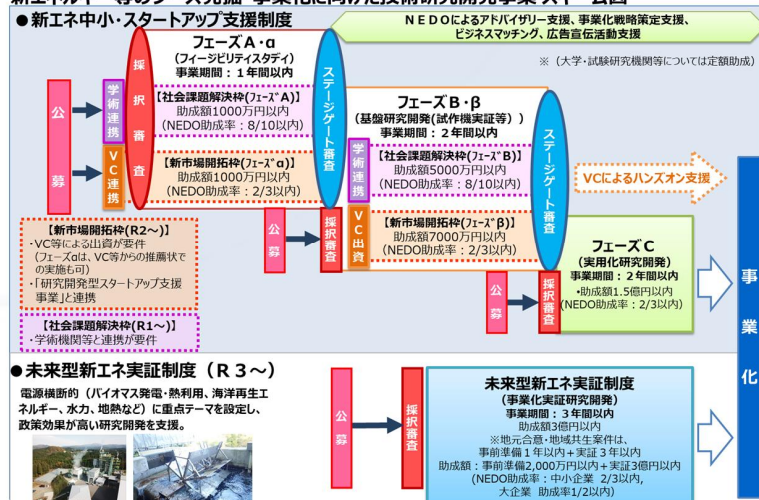


応募要件

制度	応募要件 詳細
新エネ中小・スタートアップ支援制度	エネルギー基本計画等に示されている、以下の(ア)又は(イ)の分野に該当し、再生可能エネルギーの普及につながる提案であること。 (ア)太陽光発電、風力発電、中小水力発電、バイオマス利用(制限あり)、再生可能エネルギー熱利用及びその他未利用エネルギー(ただし、原子力を除く)分野 ただし、「原子力」とは、原子核変換の過程において原子核から放出される全ての種類のエネルギー(原子力基本法第3条)を指します。 (イ)再生可能エネルギーの普及及びエネルギー源の多様化に資する新規技術(水素・燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等)
未来型新エネ実証制度	・ 再生可能エネルギーの大量導入に関する課題の解決に資する提案であり、事業期間終了後 1 年以内での事業化を目指す具体的な内容であること。 ・ 公募要領別添1に掲げる、NEDOが設定する課題に合致するテーマであること。 ・ 地域共生・地元合意が必要な案件については、実証研究開発実施前に、地元合意を形成するための事前準備を行うこと。

2022年度	予算 : 17.9億円	第1回公募: 採択 新規5件/応募21件 (4.2倍) 第2回公募: 採択 新規9件/応募17件 (1.9倍)
2023年度	予算 : 17.8億円	第1回公募(新エネ中小・スタートアップ制度): 採択 新規7件/応募25件 (3.6倍) (未来型新エネ実証制度): 採択 新規1件/応募3件 (3.0倍) 第2回公募(新エネ中小・スタートアップ): 採択 新規4件/応募19件 (4.8倍)
2024年度	予算 : 17.1億円	第1回公募(新エネ中小・スタートアップ制度): 採択 新規6件/応募16件 (2.7倍) 第2回公募(新エネ中小・スタートアップ制度): 採択 新規2件/応募9件 (4.5倍) (未来型新エネ実証制度): 採択 新規2件/応募4件 (2.0倍)
2025年度	予算 : 16.7億円	新エネ中小・スタートアップ制度: 第2回 公募期間10/8~11/25 未来型新エネ実証制度 : 公募期間10/8~11/25

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業 スキーム図



●事業ページ



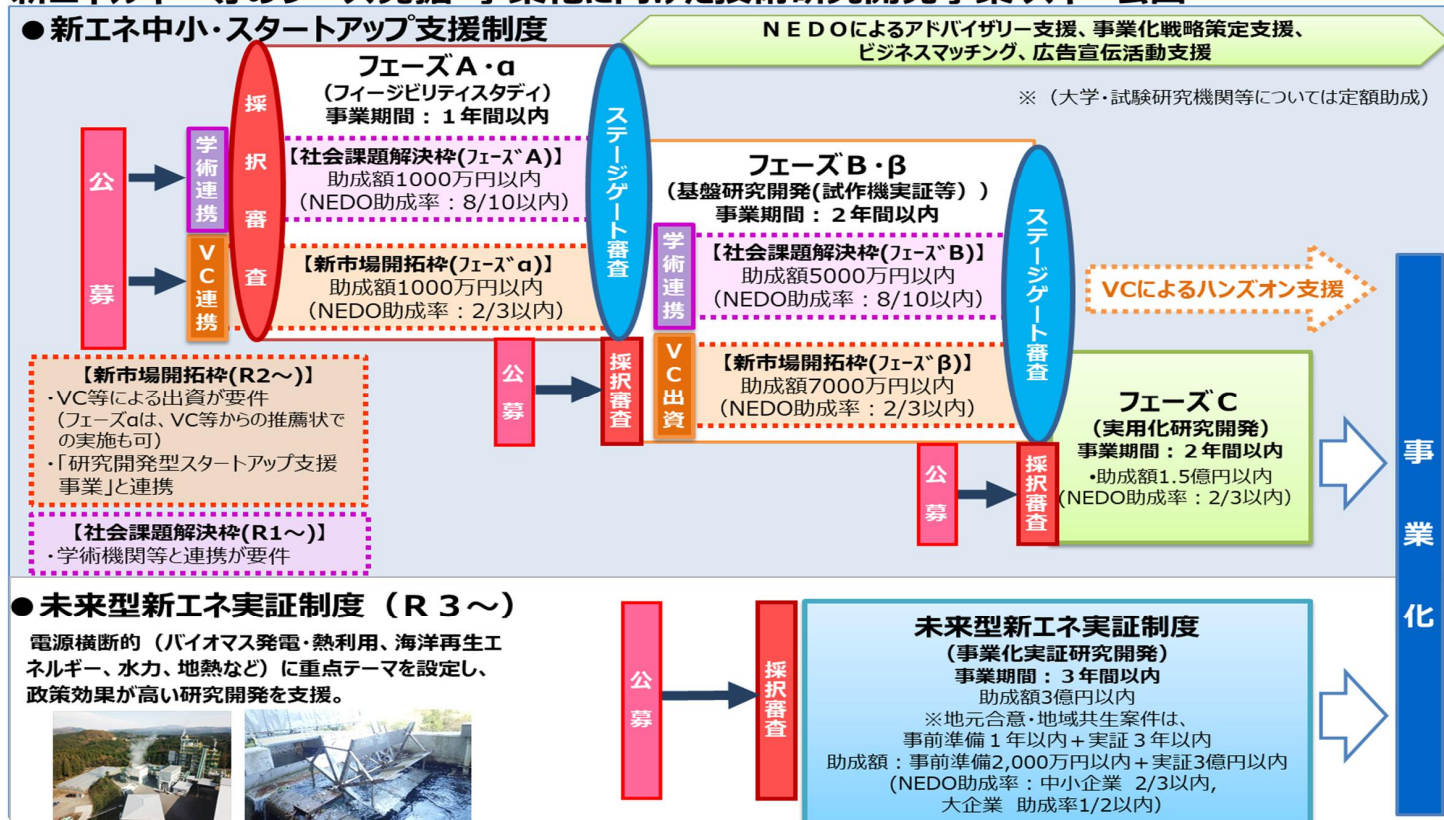
https://www.nedo.go.jp/activities/CA_00251.html

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

10

技術開発に対する補助金支援 : スタートアップ支援事業

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業 スキーム図



11

応募の要件

(新エネ中小・スタートアップ支援制度 全フェーズ共通)

1.エネルギー基本計画等に表示されている、(1)又は(2)の分野に該当し、再生可能エネルギーの普及につながる提案であること

(1)太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用、その 他未利用エネルギー分野

(2)再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新規技術（水素・燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等）

2.日本国内で登記されている中小企業等であつて、研究開発拠点を国内で 確保できること

(1) 複数事業者で提案する場合は、代表となる事業者を代表提案者とし、代表提案者 以外の事業者を共同提案者とします。

(2)「中小企業」とは、中小企業基本法に定められている「資本金基準」、「従業員基準」のいずれかを満たす会社であつて、みなし大企業に該当しないもの、目つ、直近過去 3 年分 の各年又は各事業年度の課税所得の年平均額が15億円を超えないもの

※本事業は、「課題設定型産業技術開発費助成金交付規程」及び「助成事業事務 処理マニュアル」をに基づき実施します(実施要件)

(公募要領P10-P13)

12

応募の要件（中小企業の定義）

中小企業とは下表に示す「資本金基準」または「従業員基準」のいずれかを満たす企業であつて「みなし大企業」(公募要領P10参照)に該当しないもの、目つ、直近過去3年分の各年又は各事業年度の課税 所得の年平均額が15億円を超えないもの

主たる事業として営んでいる業種	資本金基準 (資本金の額又は出 資 の総額)	従業員基準 (常時使用する従業 員 の数)
製造業その他の業種（下記以外）	3億円以下	3 0 0人以下
卸売業	1 億円以下	1 0 0人以下
小売業	5千万円以下	5 0人以下
サービス業	5千万円以下	1 0 0人以下

(注) 常時使用する従業員には、事業主、法人の役員、臨時の従業員（解雇予告不要者）を含まない

※中小企業者としての「組合等」も応募できます。詳しくは公募要領を確認してください

(公募要領P10-P12)

13

応募の要件

(新エネ中小・スタートアップ支援制度 社会課題解決枠)

複数機関で提案する場合は、代表となる事業者を代表提案者とし、代表提案者以外の事業者を共同提案者とします。

提案フェーズ	応募要件
社会課題 解決枠 フェーズA (F.S.)	・共同研究先として、学術機関等(※)を実施体制に加えること ・共同研究先との役割分担(共同研究先の開発取組内容)が明確に示されていること。(提案者と共同研究先の解決すべき技術 課題が、それぞれ明確となっていること。) ・公募要領別添1に掲げる、NEDOが設定する課題に合致する テーマであること
社会課題 解決枠 フェーズB (基盤研究)	・提案書における「委員会等における外部からの指導及び協力者」に 学術機関等(※)からの指導・協力 者を入れるなど、実施体制に 学術機関等(※)を含むこと ・公募要領別添1に掲げる、NEDOが設定する課題に合致するテマ であること

※国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立 大学、高等専門学校、ならびに国立研究会開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関

(公募要領P12)

14

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業 の研究開発課題分野



社会課題解決枠フェーズA及びBに関する研究開発課題

<https://www.nedo.go.jp/content/800033602.pdf>

- A. 太陽光発電利用促進
- B. 風力発電利用促進分野
- C. 中小水力エネルギー利用促進分野
- D. バイオマス利用促進分野
- E. 再生可能エネルギー熱利用促進分野
- F. 未利用エネルギー利用促進分野
- G. 水素・燃料電池利用促進分野
- H. 蓄電池利用促進分野
- I. 再生可能エネルギー利用促進分野
(A～H の各分野に属するものを除く。)

未来型新エネ実証制度に関する技術実証課題

<https://www.nedo.go.jp/content/800033640.pdf>

- A. 風力エネルギー
- B. 海洋エネルギー
- C. 水力エネルギー
- D. 地熱エネルギー
- E. バイオマスエネルギー

2025年度研究開発課題

新エネ中小・スタート
アップ支援制度



2025年度技術実証課題

未来型新エネ実証制度



15

課題番号	研究開発課題
A. 太陽光発電利用促進分野	
A-1	太陽光発電システムの付加価値向上及び市場の拡大に資する技術の開発 (NEDO プロジェクト※で実施中の太陽電池の技術開発プロジェクトにおいて既に 実施しており、新規性・革新性が確認できないものは除く(ただし、同じ種類の太陽電池であっても、新規性・革新性が確認できるものについては対象とする)) ※「太陽光発電主力電源化推進技術開発」、「太陽光発電導入拡大等技術開発事業」、「グリーンイノベーション基金事業/次世代型太陽電池の開発(ペロブスカイト太陽電池)」 例) ・新規次世代型太陽電池の高効率化、量産化、低コスト化に資する技術(製造装置の技術開発、周辺技術等) ・太陽電池パネルをパネル単位で、より高度に制御・最適化する技術(MLPE:Module-Level Power Electronics) ・発電量予測精度の向上に関する技術 ・地域と共生可能な形で適地を確保可能な立地制約の克服に資するシステムも含めた技術 (例:壁面、窓、重量制限のある屋根、営農型、水上型、洋上型)
A-2	太陽光発電システムの安全性向上に資する技術の開発 例) ・太陽光発電システム(主としてモジュール、ケーブル及び接続箱)における発火防止技術 ・太陽光発電システムのパワーコンディショナーが他の機器に及ぼす影響を低減させる技術 ・太陽光発電システムの故障を事前に検出するための技術
A-3	太陽光発電システムを維持管理(太陽光発電システムの長寿命化や発電量最大化に寄与)する技術の開発 例) ・太陽電池パネル清掃システムに関する技術(特に水を使わない清掃システムや、太陽光発電システムの発電電力の変化等から効率的な清掃計画を作成するプログラム開発) ・太陽電池パネルの汚れを抑制する技術(太陽電池パネル表面のコーティング剤の開発等) ・太陽光発電システムの故障を早期検出するための技術 ・太陽光発電システムの寿命評価技術

技術開発に対する補助金支援：スタートアップ支援事業 SBIR

起業前の個人

スタートアップ
中小企業

大学・研究機関

SBIR(Small/Startup Business Innovation Research)推進プログラム

詳細ページ



政府機関が決定した研究開発課題に取り組む研究開発型スタートアップ等が実施する研究開発の促進及び成果の円滑な社会実装を目指します。
(内閣府を司令塔として省庁横断的に実施する制度)

技術シーズの開発研究

初期構想の発想・検討

試作品の開発

商用化の実現

市場開拓

フェーズ

補助金額

対象者

事業期間

フェーズ1

概念実証PoC/
実現可能性調査(FS)支援

補助率
1/1

一気通貫型：2,000万円以内

連結型：1,500万円以内

研究開発課題に対して、解決に資する技術シーズを有しているスタートアップ等

原則として
1年以内

フェーズ2

PoC/FSを前提とした
実用化開発支援

補助率
2/3

一気通貫型：1億円以内

連結型：5,000万円以内

研究開発課題に対して、概念実証や実現可能性調査を完了しているスタートアップ等

原則として
2年以内

省庁間調整

内閣府
Cabinet Office

ニーズ元省庁

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry環境省
Ministry of the Environment

農林水産省

国土交通省

防衛装備庁

総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

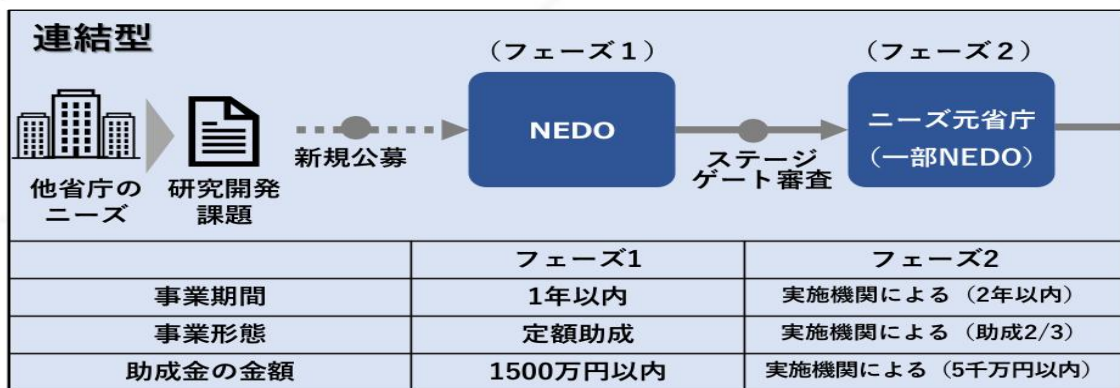
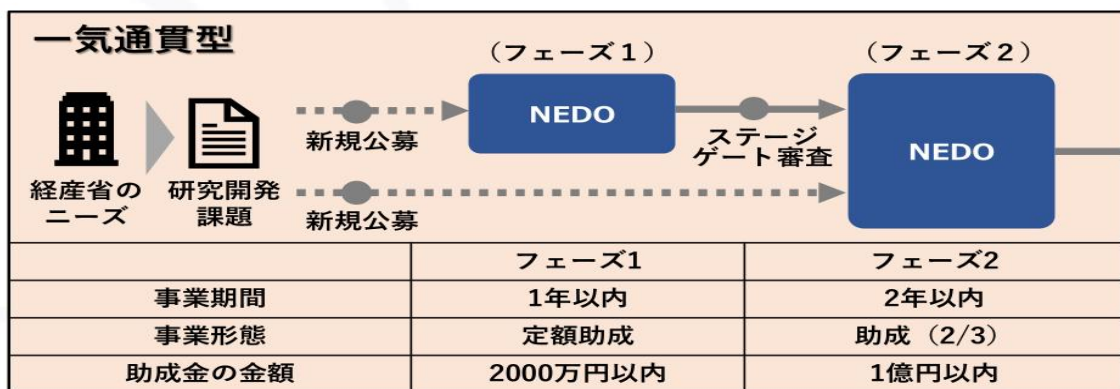
文部科学省

実施機関

NEDO

農研機構
NARO

JST



（カッコ内はNEDOで実施の場合）

1

18

技術開発に対する補助金支援：スタートアップ支援事業 SBIR

起業前の個人

スタートアップ
中小企業

大学・研究機関

フェーズ1

フェーズ2（フェーズ2からの応募も可能です。）

一気通貫型
経産省のニーズ

連結型
他省庁のニーズ

NEDO
（補助事業）

NEDO
（補助事業）

ステージ
ゲート
審査

NEDO
（補助事業）

関係府省庁
支援内容は各課題のニーズ元省庁により異なります

民間市場
で販売

公共調達

（参考）2025年度 研究開発課題一覧

✓ 毎年度テーマが変わりますので、ご注意ください。

区分	No	ニーズ元	フェーズ1	フェーズ2	分野タグ	研究開発課題
一気通貫型	1	経産省	NEDO	NEDO	#福祉	高齢者の自立支援や介護者の負担軽減・生産性向上等に資する福祉機器の開発
	2	経産省	NEDO	NEDO	#宇宙	民間宇宙活動で推進する産業発展及び国際競争力強化に資する技術開発
	3	経産省	NEDO	NEDO	#製造	マグネシウム合金の固相リサイクル技術の深化
	4	経産省	NEDO	NEDO	#製造	無人航空機・人工衛星等における安定的な通信確保のための電磁波耐性ソリューションの開発
	5	経産省	NEDO	NEDO	#防災	避難所の衛生環境整備に関する技術
	6	経産省	-	NEDO	#製造	製造業・工程内物流における協働モバイルマニピュレータ開発
	7	経産省	-	NEDO	#ロボ	サービスロボットの稼働率・利便性の向上のための開発
連結型	1	総務省	NEDO	総務省	#通信	Beyond 5Gの実現、同技術を活用したサービスの社会実装・市場展開を見据えた研究開発
	2	厚労省	NEDO	厚労省	#福祉	多様化する障害像を見据えた自立支援機器の開発
	3	農水省	NEDO	BRAIN	#農業	食品産業における生産性向上に資するスマート化（自動化）技術の開発
	4	農水省	NEDO	BRAIN	#林業	林業の安全性向上・労働負担軽減・生産性向上に資する技術の研究開発
	5	農水省	NEDO	BRAIN	#林業	森林由来の資源を活用した新素材・原料の研究開発（エネルギー利用を除く）
	6	国交省	NEDO	国交省	#海事	海事分野のDX推進、生産性向上、労働負担軽減、安全・安心の確保等に資する研究開発
	7	国交省	NEDO	国交省	#海事	海事分野のGX推進、脱炭素社会の実現に資する研究開発
	8	国交省	NEDO	国交省	#物流	旅客の手荷物のコンテナへの積付の自動化の実現に向けたアルゴリズム開発
	9	環境省	NEDO	環境省	#環境	CO ₂ 吸収・回収・分離・利用（固定）に関する技術開発
	10	環境省	NEDO	環境省	#環境	AIを活用したClimate Tech開発
	11	内閣府（京都府）	NEDO	BRAIN	#環境	廃棄による食品ロスの原因になっている未利用農産物等の高付加価値化を可能とする技術開発
	12	内閣府（京都府）	NEDO	環境省	#環境	複合素材によるプラスチック類や汚染度が高いプラスチック類等を対象としたケミカル・マテリアルリサイクルの手法の技術開発

19

令和8年度連結型のトピック一覧（フェーズ1）

No.	ニーズ元	フェーズ1	フェーズ2	タイトル
1	総務省	JST NEDO	総務省	Beyond 5Gの実現、同技術を活用したサービスの社会実装・市場展開を見据えた研究開発
2	厚労省	JST NEDO	厚労省	障害者の自立や社会参加を促進する汎用的な支援機器の開発
3	農水省	NEDO	農水省	中小食品工場向け生産性向上に資するスマート化技術の開発
4	農水省	JST	農水省	林業のスマート化、木質資源の高付加価値化に資する新技術の研究開発
5	国交省	JST NEDO	国交省	海事分野のDX 推進、生産性向上、労働負担軽減、安全・安心の確保等に資する研究開発
6	国交省	JST NEDO	国交省	GX 推進・脱炭素をはじめとした海事分野の環境課題の解決に資する研究開発
7	環境省	JST NEDO	環境省	AI×資源循環DXによる廃棄物処理技術の開発
8	環境省	JST NEDO	環境省	ブルーカーボン吸収源対策に資する技術の開発
9	環境省	NEDO	環境省	衛星観測データを活用した環境課題解決に資する技術の開発
10	環境省	NEDO	環境省	気候変動適応に資する早期警戒システム技術の開発
11	警察庁 消防庁	JST NEDO	NEDO	地中の埋設物や要救助者の探索に資する次世代防災・救助支援技術の開発
12	消防庁	JST NEDO	NEDO	次世代消火技術の研究開発

20

1. 事業の背景と目的／事業の内容(求める事業者像など)／応募要件



	フェーズ1	フェーズ2
応募者像	対象となる研究開発課題を解決するための明確な構想を持ち、自社の技術シーズを発展させ、事業化に取り組もうとするスタートアップ等	フェーズ1の成果等を前提とした実用化開発を行い、事業化※を実現することにより政策課題を解決しようとするスタートアップ等
取組み内容	- 対象となる研究開発課題の解決に資する技術シーズを有するスタートアップ等が、事業化に向けて必要となる基盤研究のための概念実証(POC)及び実現可能性調査(FS)を実施する - POC及びFSを通じて有望な事業化計画書(ビジネスモデル、収益計画、VC調達計画等を含む)を練り上げる	対象となる研究開発課題の解決に資する技術シーズを有し、POC・FSを完了しているスタートアップ等が、事業化に向けた研究開発を実施する。
ゴール	- POC及びFSを通じた事業化※に必要な技術的課題が明確となり、かつその一部について明確な進展があること - 有望な事業化計画書が策定できていること	- 事業化に必要な技術的課題の大部分が解決している、或いは目途が立っていること - 事業化※に向けた具体的な体制が構築できている、或いは目途が立っていること (フェーズ2：終了から5年以内の事業化※を目指す)

- ・日本に登録されている中小企業等（法人）であること
- ・原則創立15年以内の革新的な研究開発を行うスタートアップ等であること
(ただし、技術の態様や調達ニーズ等に応じて、個別に対応することがあります)

※ 本事業において事業化とは、事業終了後に生産・販売等を開始することにより、継続的に売上げが発生することを指します

21

※参考

提案内容と研究開発課題への適合性確認相談について (希望される提案者の方のみ)

下記は昨年度のHPからですが 本年も継続実施すると聞いておりますのでご活用下さい

提案予定の研究が公募内容に沿った内容であるかについて、ご不明点をお持ちの提案者の方はSBIR推進プログラム事務局が相談に応じます。

希望される方は、下記の「提案内容と研究開発課題との適合性確認シート」にご記入の上、「提案内容と研究開発課題との適合性確認相談への応募はこちら」から送付をお願いします。

回答はSBIR推進プログラム事務局からメールで返信します。

なお、相談が採択審査に影響することはありません。

※相談は同一の提案者から同一の課題に対して一回のみでかつ最初に送付された相談のみを有効とします。

- 相談受付期間：2025年3月11日（火）～2025年4月7日（月）正午まで
- [提案内容と研究開発課題との適合性確認シートはこちら](#) (31.9KB)
- [提案内容と研究開発課題との適合性確認相談への応募はこちら](#) (3月11日公開)

※参考

【SBIR制度に係るRFI(情報提供依頼)の実施について】

国の調達ニーズや政策課題の解決に貢献する技術シーズ等の情報を募集します

令和7年度のSBIR制度における研究開発課題を検討するため、RFI（情報提供依頼）を実施し、国等の調達ニーズや政策課題の解決に資する技術シーズやソリューションに関する情報を、スタートアップや研究者等を対象に広く募集します。

※RFIにご協力いただくと、令和7年度のSBIR制度において、あなたの技術シーズ等に紐づいた研究開発課題が検討されますので、SBIR制度を利用しやすくなります。

※情報提供いただいた技術シーズ等の全てが研究開発課題に反映されるわけではありません。

[内閣府SBIR特設ページ：RFI](#)

<https://sbir.csti-startup-policy.go.jp/post/rfi2025>

ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業

NEP(NEDO Entrepreneurs Program)／躍進コース



ディープテック分野で“具体的な技術シーズ”を活用した
ビジネスモデルを有する起業家候補人材を支援します。

詳細ページ



コース	補助対象費用 ※補助対象費用×補助率＝補助金額	対象者		事業期間
		応募時	交付決定先	
 躍進500 躍進3000 ※躍進3000: VC等からの出資関心確認書の 提出が必要	500：500万円未満 補助率：1/1	個人・チーム・法人	法人	12か月以内
	3000:3,000万円以内 補助率：1/1			
 躍進カーブアウトA 躍進カーブアウトB ※カーブアウトA・B: 「支援対象証明書」の 提出が必要	A：500万円未満 補助率：3/4	個人・チーム	カーブアウトを想定する 個人・チーム	
	B:3,000万円以内 補助率：3/4	個人・チーム・法人	カーブアウト後の 法人	

24

活動イメージ

- ✓ 事業者は製品・サービスの試作品開発や、顧客候補のフィードバック等によるビジネスモデルのブラッシュアップといった事業化促進の活動を事業カタライザーのサポートを受けながら実施。

採択までの流れ



応募について

応募書類

- ・提案書
- ・技術シーズの原理確認や市場でのニーズ確認(PoC)の内容や計画・体制、企業化計画、他
- ・コースにより「出資関心確認書」や「支援対象証明書」

審査基準

- ・本事業の趣旨との整合
- ・人物評価
- ・技術評価
- ・事業性評価
- ・資金調達に関する評価

NEP 躍進コース

躍進500・3000の主な応募要件

・具体的な技術シーズに基づくビジネスモデルのもと、**日本国内で事業活動の開始や資金調達**を目指している者(大企業からのカーブアウトを含国籍は問いません。)
(法人設立前の場合、交付申請書の提出までに設立する必要があります。)
(技術研究組合は本事業の対象外)

・採択決定までに、**日本国内に居住している又は居住する予定**である者。
外国籍の者については、日本における滞在及び就労要件を満たしていること。

・中小企業基本法等に定められている**中小企業者の定義に該当する法人であって、**
みなし大企業に該当しないもの。且つ、直近過去3年分の各年又は各事業年度の課税所得の
年平均額が15億円を超えないもの。

・新たに法人を設立する場合は設立当初より本応募事業を事業化することを目的としている
法人であること、または、**すでに事業活動を行っている法人の場合はその法人による**
「新規事業」であって、当該事業を将来的に分社化する等の構想があること。

・事業化に向けた資金として、**提案額以上の出資・融資等の投資を受けていないこと**
(但し、出資・融資等とは、業として出資・融資を行う者(事業会社等の法人を含む)
による投資を対象とし、これに該当しない個人投資家による投資は対象外とする)

・**躍進3000:VC等から「出資関心願／出資関心確認書」の提出を受けられる者。**

「VC 等」の要件は、以下の通りとする。

- ・業としてスタートアップへの投資機能を有し、躍進コース事業者の事業化支援を行う機能を有する企業であること。
- ・対象とする技術領域の事業化を支援する能力を有すること。販路を含め、具体的かつ広範なネットワークを有すること
- ・事業者の事業化を支援する拠点を有し、ハンズオン支援できる常駐スタッフを配置していること。

2026年 NEP 躍進 予告情報関連リンク



事業期間	2023年度～2027年度
公募期間	2026年3月中旬から2026年4月中旬の予定
公募予告ページ	https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100514.html
参考25年度 公募説明資料	https://www.nedo.go.jp/content/800021500.pdf
参考25年度公募要領 500・3000 カーブアウトA/B	https://www.nedo.go.jp/content/800021496.pdf https://www.nedo.go.jp/content/800021497.pdf
参考25年度 FAQ	https://www.nedo.go.jp/content/800021495.pdf
参考25年度 提案書書き方説明資料	https://www.nedo.go.jp/content/800021545.pdf
事業紹介	https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100248.html
NEP 特設ページ	https://nep.nedo.go.jp/yakushin
問い合わせ先	スタートアップ支援部 NEPチーム E-MAIL： NEP@nedo.go.jp

公募時期

各支援事業ごとに異なる

- ✓ 公募開始時期は前年度の12月～4月が多い。
- ✓ 補正予算等で2回目の公募や年度下期に公募もあり。

公募予告

NEDOのホームページで公開

- ✓ 公募開始の約1カ月前に予告
- ✓ 予告が出たら、内容確認・質問は問い合わせ先に

公募情報

NEDOのホームページで公開・公式Facebookも活用

- ✓ HPから公募要領や申請書書式等の書類が入手可能
- ✓ 公募期間は、約30日～40日

公募説明会

最大限に活用

- ✓ オンラインで実施の場合、ホームページに開催告知あり
- ✓ 開催後に説明会資料の参照も可能

応募に向けて

早め早めの応募準備

- ✓ 少なくとも公募予告が公開されたら、昨年度の申請書に書き始めることが大事
- ✓ 申請書準備段階での疑問点（どう書けばよいかわからない等）を問い合わせ等で質問・疑問解消

支援対象となる費用

研究開発に直接かかわる人件費、機械装置、消耗品、外注費、共同開発費、旅費・交通費、諸経費など

（注）支援事業により支援対象項目が異なるので、当該事業の最新公募要領を参照ください。

原則支援対象外

事務人件費、生産設備、汎用機器など研究開発に関わらないもの、または他の目的に転用が可能なものは、原則支援の対象外

支援方法

- 委託 -

NEDOが研究開発の業務を、NEDO以外の者に委託すること。
NEDOが事業費の全額を負担。事業主体は、NEDO

- 助成 -

事業者が主体的に取り組む研究開発等の事業に対して、NEDOがその事業費の一部（2/3、1/2）を負担（交付）すること。
事業の主体は、助成事業者

支援制度別公募情報まとめ ①

2026・2・9現在

事業	公募ページ(2025年度)
新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業(新エネ中小・スタートアップ支援制度) 予告中	https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100451.html
新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業(未来型新エネ実証制度)	https://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100445.html
脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム 予告中	https://www.nedo.go.jp/koubo/SM1_100001_00113.html
SBIR推進プログラム(Small/Startup Business Innovation Research)【連結型】	https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100488.html
SBIR推進プログラム(Small/Startup Business Innovation Research)【一気通貫型】	https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100490.html
ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業(NEP) 開拓コース 公募中(～2月24日正午)	https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100510.html
ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業(NEP) 躍進コース 予告中	https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100514.html

30

支援制度別公募情報まとめ ②

2026・2・9現在

事業	公募ページ(2025年度)
ディープテック・スタートアップ支援事業(DTSU) GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業(GX)	https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100505.html
「NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座	https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100500.html
NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム	https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00084.html
NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ 公募中(2月2日～4月1日(水)(正午)	https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00110.html
NEDO先導研究プログラム／フロンティア育成事業 公募中(～2026年2月27日(金)正午)	https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00111.html
官民による若手研究者発掘支援事業 予告	https://www.nedo.go.jp/koubo/SM1_100001_00119.html
参考 25年度公募ページ	https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00085.html

※・2025年12月より、jGrantsでの応募受付を行います。jGrantsでの応募にはGビズIDが必要です。

- ・NEDO事業の公募におけるjGrantsでの応募受付について(2025年12月開始)
- ・あわせて、2025年12月よりe-Radの運用を一部変更します。詳細は以下を参照ください。
- ・NEDO事業におけるe-Radの手続きについて

31

Plus(Platform for unified support for startups)

詳細ページ



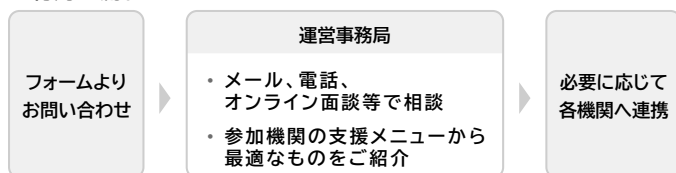
2020年に創設された政府系スタートアップ支援プラットフォームで、
支援者どうしの勉強会や、スタートアップの相談窓口を開設しています。

政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ窓口

Plus One

- ✓ Plusでの22機関間連携を活用し、
一元的な相談体制を構築
- ✓ 受けたい支援タイプのタイプ別検索が可能

ご利用の流れ



参加機関

シード期
技術シーズ創出・研究開発・
人材育成支援



アーリー期
支援・ファンディング



エクспанション期
海外展開支援



金融支援・投資



地域経済活性化支援機構



知財支援



どこに相談したらよいのだろうか…？

いろんな事業があって、
どれを選んだらいいか
わからない

私が取り組んでいる
研究開発内容にあった
支援ってあるのかな



政府系の支援を
受けたいけど、
誰に相談したらいいか
わからない

海外展開を考えている
知財をいかしたい
これから起業したい
…etc

支援施策一覧

補助金		出資		融資	
  		   		   	
  		   			
		  			
マッチング		知財		海外展開	
		 		  	
				 	
					
		 			
相談・メンタリング・人材育成・インキュベーション施設					
  					
  					

お役立ち情報



【分野横断的公募事業紹介冊子】 月初更新
<https://www.nedo.go.jp/activities/startups/plusone.html#booklet>



2025年10月

【Star Tips】
<https://www.nedo.go.jp/activities/startups/index.html>
 NEDOの中小企業・スタートアップ企業向けポータルサイトです。



【Plus One】
<https://www.nedo.go.jp/activities/startups/plusone.html>
 ー政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ窓口ー
 事業内容・フェーズに合わせた研究開発支援を中心に、
 各種制度のご紹介をしております。



【NEDOスタートアップクラブ】
<https://www.facebook.com/nedo.startup.club>

NEDOの情報はもちろんのこと、他の政府系スタートアップ支援
 機関の公募・イベント情報をいち早く受けとることができます。



NEDOデスク

詳細ページ



全国の経済産業局とNEDOが連携し、技術開発に取り組む企業等からの相談に応じて
NEDOの支援策を説明するほか、地域における行事やイベントでNEDOの活動を紹介しています。



36

支援先へのお問い合わせ

一般的なお問い合わせ・支援先に関するご質問

NEDOの支援先企業や制度全般に関するご質問、
どの部署に連絡すればよいかわからない場合は「[Plus](#)」をご利用ください。

担当部署が明確な場合

特定の事業やプロジェクトのお問い合わせなど、担当部署が既に決まっている場合は
各部署へ直接ご連絡ください。



公式Facebook(NEDOスタートアップクラブ)



イベントや公募情報、最新の取り組みなどを発信しています。



J-Startup



外部有識者からの推薦に基づき、潜在力のある企業を選定しています。
現在、全272社選定済。



37

スタートアップ・中小企業向けポータルサイト



[StarTips\(スタートアップ支援\) | NEDO](https://www.nedo.go.jp/activities/startups/plusone.html)



新しい機能紹介

○Plus機関の支援策について、「資金提供」「投資」「知財」「海外展開」等状況に応じて、選んで見つけることが可能です。

以下リンク>受けた支援のタイプから探す>資金提供をクリック

<https://www.nedo.go.jp/activities/startups/plusone.html>

○DTSU・GXの採択サイトができています。

以下リンク>DTSU・GX検索サイト ※NEP・SBIRの採択事業者も検索できます。

<https://www.nedo.go.jp/activities/startups/index.html>

※例えば、NEDOって宇宙関連だと、どういうところ支援している？と問われた際、「詳細検索>宇宙分野選択！」で見つけることができます。

また、AI関連では？と聞かれた際には、「キーワードにAIと入力」して見つけることができます。

ご清聴ありがとうございました